

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府立吹田東高等学校	階数	地上4F
建設地	吹田市青葉丘南	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、第2種中高層住居	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,200 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2017年2月20日
敷地面積	32,421 m ²	作成者	㈱大建設 榎恭志郎
建築面積	5,476 m ²	確認日	2017年2月21日
延床面積	14,970 m ²	確認者	㈱大建設 静茂夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 ・省エネルギーや省資源の積極的な取組 ・自然環境の保全、みどりの確保 ・自然エネルギーを活用した快適な室内環境の実現		その他 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 ・各居室に自然採光、自然換気が可能な窓を設置 ・十分な照明照度を確保して良好な学習環境を確保 ・F☆☆☆☆以外の建材の使用禁止 ・全館禁煙	Q2 サービス性能 ・耐震性25%向上 ・余裕をもった床荷重や階高将来の改修等に対し柔軟な対応	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地内の緑地の減少を最低限に抑えるとともに並木等を整備し、良好な緑地環境を維持
LR1 エネルギー ・校舎棟内部に光庭を設けて、自然採光を確保	LR2 資源・マテリアル ・省水型機器を用いた節水	LR3 敷地外環境 ・交通負荷抑制(適量な量の駐輪・駐車スペースの確保)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0158

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	大阪府立吹田東高等学校					
	建設地	大阪府吹田市青葉丘南292-1、3588-3、3585-1					
	用途/区分	学校					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					4	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.7	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	4	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			3.5		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			4.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			4.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.4		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			4.0	4	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			4.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			4.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							